対カンボジア緊急援助物資引渡式

１０月２３日（水）、プノンペン国際空港において、国家災害対策委員会（ＮＣＤＭ）主催の緊急式典が開催されました。

本援助は、本年９月下旬からの当国における洪水被害を踏まえ、発電機５０台、浄水器５０台など約３，２００万円相当の緊急支援物資をカンボジア政府を通じ被災地に配布するものです。同式典にはニュム・バンダＮＣＤＭ首席副議長兼上級大臣ほかカンボジア政府及び州政府関係者など多くの関係者が出席し、隈丸大使よりニュム・バンダＮＣＤＭ首席副議長兼上級大臣に対し、目録が手渡されました。

大使スピーチ

式典では冒頭隈丸大使から、今回の洪水の犠牲者に対し弔意とお見舞いを表明するとともに、「東日本大震災に際し、カンボジアを含む国際社会から早急な援助をしていただき、日本国民は大変助かった。今回供与した緊急物資が洪水被害に直面している人々の苦しみの緩和に貢献することを願う。」と述べました。

これに対し、ニュム・バンダＮＣＤＭ首席副議長兼上級大臣は、「今回の日本の緊急援助物資の供与に感謝する。２０１１年の洪水の際にも日本から緊急援助物資の供与をしていただいた。また、無償資金協力による重機等も供与していただき、今回の洪水でも大変役立っていることについて重ねて感謝申し上げたい。今回供与を受けた物資はどれも被災者にとって有用なものである。カンボジア政府として大至急配布する。カンボジア政府としては被災者への緊急対応の後、深刻な洪水被害を受けた道路、灌漑、農業、医療面に対する復旧に取り組む予定である。」と述べました。

到着した緊急物資は、各州の担当者に配布された後有効に活用される予定です。

大使から大臣への目録授与

州担当者への物資引渡